

胃内視鏡検査を受けられる方へ

胃内視鏡検査とは？

内視鏡カメラを口から入れ、食道・胃・十二指腸を内側からみる検査です。カメラは人差し指くらいの太さで、検査時間は10～20分程度です。潰瘍やポリープなどの病気がある場合は粘膜の一部を採り、顕微鏡で細胞を観察する「生検」と呼ばれる検査を行うこともあります。



胃内視鏡検査の流れ

検査前日
(月 日)



夜8時以降は禁食となります。
夕食は午後8時までに消化の良い物を軽く食べてください。

検査当日
(月 日)



朝食は食べることはできません。水・お茶は飲んで構いません。



血圧・心臓・喘息の薬は服用してください。



糖尿病薬の内服・注射は医師の指示に従ってください。

お薬手帳など飲んでいる薬が分かるものを持参してください。

眠くなる薬を使用するため、検査後もふらつきや眠気が残る場合があります。危険です。動きやすい靴の使用をお願いします。
薬剤使用後は、自動車、バイク、自転車等の運転はできません。
公共交通機関、送迎等で来院ください。



検査準備



- ①更衣室で検査着に着替えます。(義歯は外して頂きます)
(コルセット・ガードル等、お腹を圧迫するものは外します)
- ②問診・検査同意書の確認をします。
- ③血圧・脈拍など測定します。
- ④水薬を飲みます。(胃の泡を消して胃内をみやすくするためです)

検査開始



- ⑥検査用ベッドに横になります。
- ⑦喉の麻酔をします。
- ⑧安全に検査を行う為、マウスピースをくわえます。



検査後

検査後は、しっかり目が覚めるまで1～2時間程度、内視鏡室内のベッドで休んでいただきます。

放射線内視鏡部門運営委員会 2013.6作成 2018.1改訂 2024.5改訂 2025.9改訂



一般社団法人 熊本市医師会
熊本地域医療センター